

自治会に加入して、コミュニティ活動に参加しよう

問合せ／本庁コミュニティ課
コミュニティG(内線4612)

住みやすい まちづくりのために

昨年度、自治会未加入の理由や加入者が安心して活動を持続するための手掛かりを探り、今後の自治会のありかたやコミュニティ施策に生かすため、「自治会に関する世帯意識調査」を実施しました。

調査は、自治会および地区コミュニティ協議会に関することなど22の項目で、無作為に抽出した市内居住の3000世帯のうち1091世帯から回答(36.4%)がありました。

調査項目の例としては、自治会に加入してよかったと思うことを伺う質問に対して、「近隣住民との交流ができた(52%)」「地域の必要な情報を知ることができた(47.7%)」と、多くの方が地域での交流や必要な情報が手に入る点をあげていました。

このアンケートの調査結果を踏まえ、つながりの重要性を伝えながら、今後も自治会活動の支援に努めていきます。



▲世帯意識調査結果



▲寄待・奥之園・城山の3自治会の合同で開催されている「寄奥城夏祭り」

自治会と地区コミュニティ協議会

自治会は、普段の暮らしにおける困り事など一人では解決できないことも、地域の問題として捉え、みんなで考え、支え合うことを目的とした住民自治組織です。

地区コミュニティ協議会は、自治会を地区の単位で包括し、スポーツ協会や子ども会などの団体の運営体制や、事務局体制の強化を図りながら、より充実した横断的な取り組みを展開する住民自治組織です。

自治会と地区コミュニティ協議会は、密接に関わりながら、地域の活性化に取り組んでいます。

あなたや家族に 役立つ三大活動

①日頃からの 見守り、 防犯防災活動

高齢者や子どもたちの様子を気配りながら、日々の声掛けや見回りを行っています。

また、防犯灯の設置や維持管理などの防犯活動、自主防災組織をはじめとした防災活動や交通安全の活動などを通して、安全・安心なまちづくりを目指しています。



②いざというときの 避難、被災活動

災害時には消防団と連携し救出作業や安否確認、炊き出しをはじめとした自主避難所の運営を行います。

また、復旧に向けた支援活動なども行います。地域全体での助け合いが、非常時に重要な役割を果たします。

③交流・親睦による 笑顔が生まれる活動

お祭りやイベントなど、地域の交流事業を通じて世代を超えた交流の場を作っています。

また、子ども会や老人会などへの支援も行っています。地域でのつながりが深まることで、日常の助け合いにもつながっています。



インターネットからも加入手続きが可能です

自治会加入の申し込みは、これまで通りお住まいの地域の自治会長へ自治会加入申込書(市ホームページからダウンロード可)を提出していただくことで加入できます。加えて、今年度から、インターネットの加入申込フォームからも加入手続きが可能となりました。詳しくは、コミュニティ課までお問い合わせください。



▲市ホームページ



▲加入申込フォーム

認知症について、先生教えて！

9月21日は世界アルツハイマーデーです。この機会に、認知症の正しい理解や認知症の方にやさしい地域づくりを目指しましょう。

今回は、認知症サポーター隊である卓翔会記念病院理事長の黒田篤氏にインタビューしました。

Q 認知症ってどんなもの？

A 認知症とは、脳の神経細胞が変化することで脳の働きが悪くなり、脳の機能が低下していく状態になることです。脳は覚える、考える、理解する、計画するなど、高度な認知機能をコントロールしています。この認知機能が徐々に低下することで、日常生活にも影響してきます。

Q 認知症の初期症状とは？

A 認知症の初期症状がよく知られているのは、物忘れです。加齢による物忘れとは違い、体験したことのを忘れて思い出すことができません。その他にも、料理ができなくなった、道に迷ったなどの判断力の低下、お金の管理ができなくなった、物をなくしたなどの注意力の低下がみられます。また、怒りっぽくなるなどの活動意欲低下の症状もあります。

Q 今のうちから 予防できることは？

A 認知症予防のためには、脳の機能低下を防ぐための脳トレが知られています。高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防することも重要です。その他にも、将来認知症になったときのために、生活、医療、介護に対する自分の希望を明確にし、自分が望む生活や医療、介護のことについて、家族などと話し合っておくことが大切です。



先生からのメッセージ

令和6年1月から共生社会の実現を推進するための「認知症基本法」が施行されました。認知症になっても本人の意思を尊重し、希望を持って住み慣れた地域で生活ができるように、認知症を正しく理解し、地域で支え合うやさしいまちづくりを目指しましょう。



▲認知症カフェ

②認知症カフェ

認知症の方、家族の介護をしている方、地域の方など、どなたでも気軽に交流できる場です。何でも話せる息抜きの場、情報交換の場としてご利用ください。



▲よいやんせ

①家族介護者の会「よいやんせ」

認知症の方や高齢者などの介護をしている方、介護を経験された方が、同じ経験を持つ者同士で語り合い、日頃の悩みや思いを気軽に話せる場所です。

問合せ／本庁高齢・介護福祉課
包括支援G(内線2676)

③脳の健康度チェック

65歳以上の方を対象に、スマートフォンなどを利用してゲーム感覚で楽しめる脳の健康度チェックを行っています。職員が地区コミュニティセンターなどへ伺い、実施することも可能です。詳しくは、本庁高齢・介護福祉課にお問い合わせください。

認知症を知ろう

市ホームページでは、認知症に関する支援や認知症の方への対応のポイントなどを紹介しています。



▲認知症を知ろう

認知症の相談に関する問合せ先

- 本庁高齢・介護福祉課包括支援G
(内線2676)
- 市地域包括支援センター(社会福祉協議会内)(永利町)
(24)333311
- 鹿児島県若年性認知症相談窓口
※若年性認知症に関する相談
099(251)4010